



# ただら

第9号  
島根学習センター内  
島根同窓会

発行者 竹下靖彦  
2017年7月発行

<http://oushimaned.main.jp>  
E-mail [info@oushianed.main.jp](mailto:info@oushianed.main.jp)

## 第5回(平成28年度)通常総会を開催

### 第5回通常総会

第5回通常総会は、2017(平成29)年4月22日(土)15:20より、島根学習センター4階「第二講義室」に於いて、委任状を含め55人(56%)の会員が出席して開催した。

司会の宅和理事による開会の挨拶、竹下会長より「念願の会員を三桁の100人を1年前倒しにて超過達成した」と喜びの挨拶、続いて来賓として所長の代理として新任の道前事務長による「本年4月より三島事務長の後任として就任した。前任者同様同窓会に対する大いなる期待をしており、共に協同して学習センター発展に協力を」との挨拶が行われ、同窓会活動を認識するためにと閉会するまで傍聴された。

議長に竹下隆理事を選出し、議長より議事録署名人を指名した後、総会議事に移った。

第1号議案の平成28年度事業報告、第2号議案の同決算・監査報告を了承し、第3号議案の29年度事業計画、第4号議案の同予算、第5号議案の会則一部改正、第6号議案の任期満了に伴う第3期役員改選が執行部より提案され、全ての議案をいずれも賛成多数で承認した。

第5号議案の会則一部改正点については、設立時より4年が経過していて、事業運営に齟齬が発生したことから、該当項目に限定して提案となった。具体的には、第16条の役員構成、第17条の役員の選任等、第18条の役員の職務、第22条の会費前納期間の5年間より3年間に短縮し、年額600円より1000円に改正する提案でした。



道前緑新事務長を交えて参加者の皆さん

### 第9回市民公開講座を開催

当日は恒例となった通常総会開催を前に、市民公開講座(第9回)『わが家の防災対策』と題して開催した。同講座には会員、在學生、市民の皆さんが聴講した。

講師はパナソニック(株)エコソリューションズ社の高橋浩二さんから、東日本大震災で家族と自らが経験した対応策について熱く語られた。

比較的に地震が少ないと思われていたこの山陰地方においても、近年は鳥取西部地震、昨年の鳥取中部地震などの発生によって、それぞれの家庭においても地震に備えることが、喫緊の課題となってきているため、改めて日頃から地震対策や防災対策に対して、家庭における取り組みが必要となってきた。

なお、講演録については同窓会HPに掲載していますので、是非ご一読下さい。

## 新年度もご支援下さい

会長 竹下靖彦



島根同窓会員の皆さまお変わりございませんか？

平成28年度は大変お世話様になりました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、島根同窓会も早いもので、本年は設立5年目を迎えることとなります。思えば設立後は取組む課題が数多くあり、あれも、これもと次々と事業の企画と準備に追い回され、ただただ慌しく日々が過ぎる状態でありました。

昨年の総会において立ち上げました“ホームページ”は、順調に推移して会員の皆さん、在学生の皆さん、大学以外の多くの方々による閲覧となり、“島根同窓会の存在”を内外にアピールすることができました。

## 改憲は何のためか？

### 立憲民主主義否定政治

さて、私は前号(第8号)で会長として昨今の我が国の政治情勢について、大いなる憤りをもって日々を過ごしているとして、安倍内閣とそれを補完する勢力によって、民意を無視した独裁政治がまかり通り、日本には最早立憲民主主義が崩壊したととられる強権政治を問題とした発言に対し、賛否の声が寄せられ、中には「同窓会長として政治的発言は如何なものか」との意見も寄せられました。

私は同号の中で、「何のために教養を学ぶのか」で故加藤周一氏の言葉に感銘を受けて、自らの学びと行動を規範としたいと発言しています。それは最高学府としての放送大学で学んできたからこそ、国民のためにならない政治には声をあげなければならないと感じているからです。

それは国の最高法規である“憲法擁護”の立場であって、国民の総意に反する改正には反対するからです。数を背景とし言葉だけの“国民に丁

寧に説明する”と語りながら、国会において議論を尽くすことなく、国政私物化ととられる「森友学園」「加計学園」「国会法すら無視する暴走」は、独裁と強権政治で民主主義を逸脱し、悪法の限りを尽くしている現状を憂いているからです。

特に安倍首相が5月3日に初めて2020年施行と期限を切って、憲法9条の1項、2項を残したまま3項に「自衛隊の記述を書き加える」と突然言い出し、次の臨時国会で自民党の改憲案を提出すると表明したことです。

憲法99条の「憲法尊重擁護義務」に反する憲法違反の発言であり、立法府に対する行政府の不当な介入で、「三権分立の原則」にも反する違憲発言である。2020年の東京オリンピックに合わせて憲法を変えることなど、両立するはずがないし、ましてやオリンピックは政治の介入を拒否しています。

### 傍観は悪法を容認へ

2013年12月に強行された“秘密保護法”、2015年9月の“安保法制”、今回の2017年6月の「共謀罪」とどれもが憲法を踏みこむ違憲立法で、全てが「海外で戦争をする国」作りであるのではないかと私は危惧しています。

特に共謀罪は、これまで政府は「処罰されるのは組織的犯罪集団に限られる」と説明してきた法案であるが、一般人が処罰・捜査の対象とされる危険性があるのが既に実証済みです。所謂戦時下最大の“治安維持法違反事件”で言論弾圧の「横浜事件」、社会保険庁の職員に対する警察の監視・尾行の「堀越事件」、最近では風力発電建設を巡る勉強会を開いただけで住民を監視、プライバシーを収集し、事業者に提供していた「岐阜県警大垣署」事件等々です。

立命館大学の松宮孝明教授は、参議院法務委員会の参考人質疑で「戦前の治安維持法よりたちが悪く、全刑法犯の80%を超える犯罪を対象とし、誰でも対象にできる」と批判されています。

権力に盾突く私などはさしずめ尾行、調査の対象となるのでしょうか？島根同窓会は2人以上集まっているから対象でしょうか？

## 公開授業「たたら製鉄をめぐる 科学と文化」の学びをとおして

島根学習センター所長  
佐々 有生



島根学習センターでは、6月を迎えて中国・四国ブロック公開授業「たたら製鉄をめぐる科学と文化」を奥出雲町横田で行いました。

本公開授業は、島根大学教授大庭卓也先生<専門分野:金属物性,回折結晶学>、島根大学教授高須晃先生<専門分野:変成岩岩石学>、奥出雲町社会教育課長高尾昭浩先生<鉄師糸原家の研究>の3名の先生方によるオムニバス形式ですすめられました。

### 「棚田」と「鉄穴残丘」の現地見学

そして、2日目は、現地見学として「棚田と鉄穴残丘」、「鬼の舌震」、「奥出雲たたら刀剣館」などを訪ねました。奥出雲の「棚田と鉄穴残丘」の現地見学では、さわやかな青空の下で田植えを終えたばかりの稲の苗が風に揺れていました。これまでも何度か奥出雲を訪ねる機会がありましたが、奥出雲の「棚田」は、どの地域・農村にもごく自然にある水田・風景として無意識に眺めていました。しかし、この「棚田」が、「たたら製鉄」を背景として、その歴史的な営みの中で美しさ景観をつくりだしたことを学んで認識を新たにしました。

「たたら製鉄」は、砂鉄採取や森林伐採などによって、単に山を切り崩して「自然破壊」をしたのではなく、自然の恵みである砂鉄採取の跡地を荒廃させずに豊潤な「棚田」に姿を変えているのです。しかも、「棚田」の中には古墳のような「鉄穴残丘」とよばれる丘が散在しており、鎮守の社や墓地などの信仰の対象地をむやみに切り崩すことなく残しています。



写真 現地見学「棚田と鉄穴残丘」

奥出雲の人々は、自然環境を破壊するのではなく、「たたら製鉄」によって自らの暮らしを豊かにする美しい景観・環境をつくりだしており、そこには永続的な産業として発展し、独自の文化を育んできた先人のすぐれた知恵が潜んでいました。

私たちは、日々の暮らしの中に身近にある「ひと・もの・こと」など、多くが当たり前のこととして見過ごしがちではないでしょうか。公開授業「たたら製鉄をめぐる科学と文化」、そして、奥出雲の「棚田と鉄穴残丘」の学びは、私たちが生きるうえで「なぜ学ぶのか」・「学ばなければならないのか」など、私たちにとって「学ぶことの意味は何か」について考えさせられた2日間になりました。

### 面接授業はフィールドワーク等多彩な授業

公開授業を含めて放送大学の面接授業は、学生の皆さんと一緒に講師の先生方から直接指導を受けることができる機会です。その授業形態は、通常の授業形式だけではなく、体験を伴う実験やフィールドワークなど、多彩に開講しています。特色ある面接授業の開講は、学習センターの大きな役割の一つです。その企画・準備・実施に当たっては、実際に様々な困難に直面しますが、私たちが見慣れて見逃しがちな「ひと・もの・こと」などにもしっかり目を向け、微力ながらこれからも島根の地のよさに気づき、認識できる授業の構想とその展開に努めたいと考えています。

## 平成28年度 第2学期 卒業を祝う会を開催しました



卒業を祝う会

3月26日(日)、平成28年度第2学期学位記授与式の後、12時から島根学習センター4階第2講義室にて同窓会主催の食事会を兼ねた「卒業を祝う会」を同窓会主催で開催しました。

今回は、卒業・修了生7名が出席されました。はじめに石川同窓会副会長、佐々学習センター所長の挨拶がありました。石川副会長より出席の卒業・修了生全員が同窓会に入会され、念願の会員100人越えが達成されたことを報告されました。

学友会より学友会会員の卒業生に対し、手作りの記念品が贈呈されました。続いて卒業生修了生の皆さんからは、これまでの学生生活での履修への取り組みや家庭との両立など、苦労話や感想、今後の抱負が述べられました。

卒業生のお一人は、約10年かかったが本部の卒業式に参加して、他県の人のお話を聞きさらに視野が広がったという方や、子供を育てながら8年間頑張り、本部での卒業式に参加することを夢見ていたが、今回は丁度仕事の関係で卒業式に参加することができず残念でした。次回は必ず東京の卒業式に出たいという人などいろいろでした。時間はアツという間に過ぎ、和やかな雰囲気にて閉会しました。(石川直樹 記)

卒業の感想を  
楽しく語る参加者

## 平成28年度 第2学期 学位記授与式が行われました



学位記授与者記念写真

平成28年度第2学期学位記授与式が、3月26日(日)午前11時から島根学習センター3階第1講義室で開催されました。第2学期は教養学部20名、大学院2名の方が卒業・修了され8名が出席された。また、初めての卒業は14名でした。

### 卒業は自分の原点を見つめ直す機会

最初に佐々学習センター所長より学位記が卒業生・修了生おひとりお一人に手渡され会場の出席者とともにその栄誉を讃えました。次に佐々学習センター所長から式辞があり、まず、第2学期の単位認定試験は思いもよらぬ大雪になりましたが、受験者の皆様はさまざま困難を乗り越えて終えることができたことを述べられました。また、今回、84歳の方が1999年4月に入学し、18年間の勉学の末、このたび卒業されたことを報告された。昨年11月12日には、島根学習センターの開設20周年の記念式典を島根県立美術館において開催しましたが、祝賀会における岡部学長と出席者の皆さんとの写真撮影や和やかに談笑する姿は印象に残った。

この時期、島根は神在月で、また、ほぼ60年に一度という「平成の大遷宮」はまさに「原点回歸」とされます。島根学習センターの設立当初に立ち戻って再確認し、近未来を展望しながらエネルギーの再生を図ることに意味があるのではないのでしょうか。卒業生の皆様も自分の原点を見つめ直し、次へ生まれ変わる力や新しいご縁を信じ力強く踏み出されることを願われました。

## 客員教員足立先生最後の挨拶

続いて来賓として足立前学習センター長と3回目卒業の竹下会長に代わり石川同窓会副会長から祝辞がありました。足立先生はこの3月で客員教員を退任されるにあたり学習センター所長として、面接授業の折衝にあたって出会った先生がたの思い出を懐かしく回顧された。石川副会長は中国の季節の変化の故事や儒学者佐藤一斉「言志四録」を引用しながら、内外の厳しい社会の中で、放送大学で学んだことを活かし社会貢献して欲しいと述べられた。



卒業生代表による答辞

在学を代表して心理と教育コースの北垣秀俊さんが送辞を述べられた。この日を迎えられた先輩方はそれぞれ平坦な道のりではなかったはずですが、試練を乗り越えられた向学心でよりよい学びの場になるよう励みたいと述べた。続いて卒業生を代表して心理と教育コースの吾郷幸子さんが答辞を述べられた。はじめに前日の東京NHKホールで開催された学位記授与式で北海道学習センターの方が99歳で4度目の卒業で学長表彰を受けられたとき会場は大きな拍手でつまれ大変感動したことを報告された。ご自身は51歳のとき退職され、保育士を目指し全科履修生として入学した。面接授業での心理学実験のレポート、広島での脳の心理学の授業、肥後客員教員の心理学セミナーなど、卒業まで10年間の数々の思い出を述べられた。

続いて客員教員から卒業生お一人おひとりに花束の贈呈や、会場を退場される時大きな拍手でご卒業を祝福しました。

(小汀政徳 記)

## 卒業生の声(平成28年度2学期)

### 「更上一層楼」

情報コース 木下知義



#### 1、卒業生の答辞は何時も感動

この3月「自然と環境コース」を卒業できた。理系苦手、科目によっては図書館で事前学習や関連図書を借りたりもした。面接授業のグループワークでもたもたしていると、少壮仲間たちにさりげなく援けられた。苦勞したので正直ほっとしている。

怠けの虫が頭をもたげるそんなとき、『だんだん』『学友会だより』『同窓会会報“たたら”』が届く。気付きや励ましとなりありがたかった。そして、晴れて卒業された方々の「答辞」にはいつも深い感銘と勇気を貰う。仕事や家事とのやりくり、不利な地理的条件、健康面の不安などを乗り越えての栄冠。厳しさではない、学ぶ楽しさ、心の友との出会い、喜びと共に感謝の気持ちが溢れている。

#### 2、さて表題の5文字とは

定年退職(平成13.)年後をどう過ごすか、①勉強、②ボランティア、③健康・体力維持の三つに分けた。そのうち勉強は放送大学に続き、もう一つ市教委主管の米子人生大学は10数年受講したが、10年連続修了時に表彰する決まりがあった。

その折、野坂前米子市長の色紙がプレゼントされた。その色紙に書かれていたのが表題の5文字である。出典は(盛唐の詩人王之涣の五言絶句、『鶴鵲楼に登る』の結句部分)の説明文の余白に「更に上を目指して頂きたいと思って書きました」との添え書きがなされていた。

放送大学も同じ年の2学期入学。科目、選科を経た3年半後、いっそ卒業をと思い切った。科目選択の自由さ、日程調整が容易なことなど自己裁量がきき、自分にピッタリの学習スタイルが定着した。

### 3、さあ、もうひとふんばり



今回で5回目の卒業、いつの間にか、という感じではある。4月最後の「情報コース」に再入学した。全6コース卒業を目指している、と口にするのはこれが初めてのこと。

実は2つ目を終えたところで、70歳で全5コースを卒業する「履修計画を立てた。既修得単位の通算を生かしながら、柔軟で身の丈に合わせたスケジュール。しかし、平成25年「情報コース」が新設された。ICTには縁遠い身、ああこれで望みは絶たれたかどがつくり。竹下同窓会長に時々出会う面接授業や試験会場で弱気を何度かグチッタ。そうしたら「そうでもないよ」とのコメント。ほんの二言三言の会話ながら多くの示唆を貰う。

こうした経験からも学生サポーターや学習相談の役割、人とのつながりの大切さを知った。計画メモの片隅に、「まず健康であること、そして何よりも生きていること」とある。

(米子市在住・76歳)

### 放送大学を活用した技術者の自己研鑽

#### 人間と文化コース卒業 田中秀典



私は現役で働いている環境関係の技術者です。技術者はその分野での専門家であることが求められるますので、自分のコアとなる分野においては、常に新しい知識を持つておくことが必要となります。また、専門分野以外についても教養を深める点においても、技術者の自己研鑽は重要となります。

しかしながら、地方に住んでいると研鑽のための機会が少なく、講習会やセミナーを受講するにも、広島や大阪まで出かけなければならないことがしばしばあります。費用も時間もかか

りますので、それほど頻繁に参加するということは、金銭的にも時間的にも難しいです。

#### 技術者の自己研鑽には魅力

そうした中で、文系から理系まで幅広い分野を学ぶことができる放送大学というのは、技術者の自己研鑽という観点から見れば、非常に魅力的であります。特に、科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)は、特定のテーマをコースを超えて体系的に学ぶことができるので、社会人が勉強するにはとても役立つと考えます。私は、異動により技術職から事務職になったことがあり、その際「実践経営学プラン」と「ものづくり MOT プラン」に属する科目を履修することにより、学んだことを仕事にフィードバックすることができました。

必要な時に、必要な分野を学ぶことができる放送大学は、私のような技術者にとってはとても良いところだと思っています。今回は再入学しませんでしたでしたが、必要になればまた入学して自己研鑽をしようと考えています。

### 無事に卒業を迎えて

出雲市 鎌田麻美



平成29年3月に無事に卒業を迎えることができました。幼かった子供も、在学中に生まれた子供もすっかり大きくなりました。今、振り返るとあっという間の8年間。しかし、その8年間の中には、途中で投げ出したくなる時もあり、何のために勉強しているのかわからなくなる時もあり、しばらく科目登録申請をしなかった時もありました。

そのような中、放送大学に入ったきっかけを作ってくれた恩師に再会し、私は卒業までの道のりを一気に進むことができました。「あと1年で卒業する！」と決めてからの1年間は私だけ

でなく、家族も一緒に卒業に向かって協力してくれました。そして、放送大学で出会った方々にも大きな力をいただきました。年齢差はあっても同じ大学の仲間として話をする時は、全く年の差を感じることなく試験のアドバイスをいただいたり、一緒にお弁当を食べたり、楽しい時間を過ごすことができました。また、放送大学の職員の方々にも大変お世話になりました。卒業するにはどのようなスケジュールを組んだらいいのか、確実に卒業するためには何単位取って置くと安心なのか…時間をかけて助言して下さいました。

### 恩師と同じ道を歩み始めて

今回、無事に卒業することができ、この文章を書いている時に、勉強する道を示してくれた恩師が他界しました。日々の忙しさに流され、卒業の報告もできていませんでした。きっとどこかで「ほうれんそう（報告・連絡・相談）ができていないよ！」と喝を入れつつも、喜んでくれているのではないかなと感じています。恩師と同じ道を歩み始めた今、放送大学で学んだ知識を活かし、社会に貢献できる人になろうと、新たな気持ちでいます。そして、まだまだ勉強不足を感じ



る今、これからも何らかの形で学び続けていきたいと思えます。最後になりましたが、放送大学で出会えたすべての方に感謝

します。

ありがとうございました。



## 卒業を迎えて

松江市 佐藤玲子



私は平成18年に入学しました。職場の同僚から「面白いですよ。私は今福祉ですが、次は産業を勉強しようと思っています。大学中退のAさんは卒業したら院に進むそうです。」と聞きました。何度かパンフレットを手にしては断念していた私は、すごく背中を押された気がしてすぐに手続きしました。

私は保健師ですので、生活と福祉コースは比較的スムーズに学ぶことができました。仕事では、後輩の専門研究にアドバイスできましたし、新しい情報や考え方を学び専門性が深まり、幅が広がったと思っています。6年かけて卒業し、念願だった「心理と教育コース」に入学しました。

### 夢はカウンセリングルームの開設

心理を学びたいと思ったのは、ストレスを抱えている人たちが、相談してくれても応えられず、もっときちんと支援ができるようになりたいと思ったことでした。傾聴や共感的理解は何かできても、相談者に不全感が残れば良いカウンセリングとは言えないのではないか、と思ったことがきっかけでした。そして私自身も、悩んでいた時カウンセリングを受ける機会があり救われました。

学んだらできるというものでもないし、何より自己成長が必要だと感じています。学ぶことで少しでも成長して行きたいと思っています。

65~70歳くらいでカウンセリングルームのようなところを開設したいなど、夢があると頑張れるような気持ちもあり、過度なプレッシャーを自分にかけて、この度大学院（選科履修生）に入学しました。気長に楽しく、頑張りたいと思っています。



## 第9回市民公開講座

## 『わが家の防災対策』

## —地震・風水害・雷・火災対策—



4月22日(土)13:30より島根学習センター4階第二講義室において、第5回通常総会の恒例行事として、総会記念公開講座「わが家の防災対策」～地震・風水害・雷・火災対策～(島根県消費者センター出前講座)を開催しました。

当日は多くの参加者があり、比較的地震が少ないと思われていた山陰地方でも、鳥取県西部地震や鳥取中部地震の発生によって、家庭における地震対策や防災対策の必要性の高さがうかがえました。

講師には高橋浩二氏(パナソニック(株)エコソリューションズ社)をお迎えしての開催でした。講演の主なトピックスは次の通りです。なお、講演要旨については同窓会ホームページに掲載しています。

## 地震について

- ・2013年8月30日より「特別警戒警報」の運用が開始されたが、その特別警報とは？
  - ・最近の日本の主な地震とは
  - ・1900年以降の地震 best10 とは
  - ・緊急地震速報の中身とは
  - ・過去世界のマグニチュード6以上の地震は
  - ・地震発生の確立とは、今後30年間に震度6弱以上に見舞われる確率
  - ・地震以外の災害の確率
  - ・わが家におけるチェックリストで点検度
  - ・大地震に備えた対策とは
  - ・東日本大震災後の意識変化とは
  - ・震度大きさと揺れ等の体感測定
  - ・日頃の備えで必要な事—家庭での防災会議、非常時に役立つもの、非常持ち出し品、貴重品など(男性15kg、女性10kgが目安)、身の



安全確保、火、ガス、電気の安全策(停電時の冷蔵庫は、冷蔵には7割位、冷凍にはぎっしり詰める)、避難経路の確保

- ・帰宅困難者の10か条とは
- ・阪神・淡路大震災の教訓
  - ・地震での死亡者は発生から15分以内、災害時における電話使用注意点、災害用伝言ダイヤル(171)の活用と利用方法、
  - ・避難中で一番困るのはトイレの問題
  - ・情報収集はラジオの活用が効果的
  - ・地震の被害は火災保険では限定的
- ・家電品の震災安全対策—テレビの固定、冷暖房機の室外機の固定など

## 風水害・雷・火災対策について

- ・台風とは—日本における台風発生
- ・気象条件と風速と被害の目安
- ・台風への対策
  - ・台風が来る前の準備
  - ・台風が来たらどうするか
  - ・避難時の注意点とは
- ・雷対策とは
  - ・人が雷に撃たれるとどうなるか
  - ・身に付けていると危険なものとは
  - ・樹木のそばは危険か
- ・雷が鳴っている時家電品の処置とは
- ・火災時は逃げ遅れないように
- ・火災警報器の設置義務と取り付け場所

## 釜石の奇跡とは

釜石小学校では、古くからの言い伝えで「津波てんでんこ(個人的に)」てんでんバラバラに、一刻も早く逃げたことで生存者がほぼ全員無事助かった教訓です。



## 新連載 第2回

## 同窓会”先輩会員”を訪ねて

雲南市 渡野誓子さん



永井隆記念館

第2回「同窓会先輩会員を訪ねて」は、雲南市三刀屋町にある平和を願い忍耐と奉仕に生きた「永井隆記念館」にて、渡野誓子(平成13年2学期卒業)さんを竹下会長と広報部安部がお訪ねし、当時の学生生活や卒業後についてお話を伺いました。永井記念館は「博士を顕彰し崇高な精神が次世代へ引き継がれることを願い設立されたものです。

## 放送大学に入学された動機は何でしたか？

10年位家庭に居てから島根医大で再就職した時に、勤務状態に少し余裕があり、もう少し学びたいと考えてオープンスクールのある大学を探しましたが、授業料も高く遠方のため諦めかけていた。職場で放送大学のパンフレットを見て松江に学習センターがあることがわかり、これ

ならば可能だと考え入学を決意しました。



最初は自分にとって面白いと思う科目だけを履修するため平成9年に科目生として入学しましたが、段々と

単位が溜まって来たので、折角なら卒業をと考え、平成11年に全科生として入学しました。

短大と放送大学の単位も生かし、平成13年2学期に卒業できました。

## 入学されたコースは何でしたか？

私は臨床検査技師ですので、自分の仕事に活かせるのかなと考え、「自然の科学」を選択しました。一定の知識があるため、履修が楽な科目も多くありました。

## 当時の学生生活で思い出はありますか？

センターの開設が間もない頃で初代所長の錦織禎徳先生が学生同士の交流を図るために学友会を立ち上げられ、教科書で学ぶ以外に、サークル活動として「和紙」「布あそび」「俳句」「ヨーガ」「山歩きの会」「パソコン・かわいいクラブ」、年2回の「学生研修旅行」もあって学生生活が楽しかった思い出があります。

## 放送授業の視聴で苦勞されたことは？

当時はスカパーでなら見られたのですが、私は入っていなかったためビデオとカセットテープを視聴室で視聴し、貸出しを受けて持ち帰って受講していました。テープの貸出しは2本までで、期間も1週間でしたので、出来るだけ土日日は視聴室に出かけていました。職場や自宅から松江まで1時間近くかかりましたので大変でしたね。

## 放送大学で学んで良かったこと、苦勞されたことは何でしたか？

その時は深く考えずに成り行きでしたが、卒業して学位を持っていたことから声をかけて頂いて、5年後に鳥取大学の大学院(米子)に進学し、後期は島根大学大学院(出雲)に入学して現在も学生です。

放送大学の「自然の科学」は生物学的な科目が多く、自分の仕事にプラスになりました。

苦勞したことは、卒業するためには興味のない科目も履修する必要があり、内容が理解できずに試験で苦勞したことです。

## 会報“たたら”のご感想は？

今年の1月に発行された第8号の竹下会長の巻頭言で“学ぶだけでいいのですか？”が目にと

まり読んだところ、こんなにはっきり自分の意見を言ってくれる人がいることに感動しました。

マスコミ報道から、現政権の数を力にして国民の知る権利や立憲民主主義を軽んじる姿勢が目にとり大変危機感を感じていましたが、どうしたらよいのか分からず苛立ちを募らせていましたから。竹下会長の至極当然で明快な発言に対して、私もそう思いますと簡単なハガキでしたけど、直接エールを送りました。小さいけれども一つの行動だと思います。

### 見出しの工夫で読みやすい誌面に

会報全般については、充実していると思います。毎号必ず新しい方の記事や写真が掲載されていて新鮮です。ただパソコンやインターネットを利用する者からすると、少し重たいと感じます。内容は素晴らしいとは思いますが、もう少しコンパクトに概要だけとして、詳しくはホームページを利用してはと思いましたが、放送大学には若い人たちだけではなく、年代の高い方もおられますので、全部きちんと内容を書かれたものが必要なかとも思います。あえて少し注文を付けるとすると、見出しの工夫をして欲しいですね。現役で働いている方は、全てを読むことは厳しいので、見出しに引かれて記事を読むことが多いと思います。例えば会長の“学ぶだけでいいですか？”は、エエ～これは何だと興味を抱かせて読む気にさせましたから。

### 同窓会のホームページは如何ですか？

ホームページは時々観ています。総会関係資料や会報、行事案内に加えて、特に講演会の記録が要領よく掲載されていて、しかも演題が時機を得ている上に講師の人選も良く、参加できなかった場合に後で読めて本当にためになります。

気が付いたことですが、島根学習センターのホームページの関連リンク先に同窓会が入っていませんでした。同窓会員だけでなく、全科生、選科生、科目生、市民からも観られるように関連リンク先に入れて頂ければと思います。ダイジ



エスト版でも良いと思います。

### 同窓会活動への改善点や期待度は？

既に素晴らしい活動に取り組まれています、強いてあげるとすれば、、島根県内は細長くて地理的条件が悪く、全県で何かをすることは非常に困難だと思いますので、総会方針にも掲げてありましたように、地域ごとに小さな単位で気軽に活動できる工夫が必要だと思います。(役員の方は負担が大変だとは思いますが)。また同窓会は素晴らしい講演会などを企画されており、会員だけでなく、学生にも開かれた活動を期待します。

さらに大学で学んだ知識を個人だけのものにするのではなく、地域や社会に貢献できる場を構築して欲しい。最後ですが、現在若者の貧困が蔓延していて、進学格差が言われていますが、比較的安価な放送大学を役立てることはできないでしょうか

単位を得ることや知識を学ぶことは一人でもできますが、学んだ知識を深めるのは社会や地域の人たちとの交流だと思います。そこで知識も経験もある同窓会の「立ち位置」が大切だと感じています。

これからも難題はあると思いますが、是非頑張って下さい。私も微力ですが一会員としてできる限り応援したいと思います。

### 読者アンケートにご協力下さい

同封しました読者アンケートをお願いしています。目的は今後の会報発行の参考に致しますので是非ともお願いいたします。

## 地区会員の近況報告（卒業後の私）③

## 試験や面接授業を西部でも

浜田市 琴野正義



私は平成13年4月に放送大学に入学しました。当時も今も県西部の浜田市に住んでいます。距離的には浜田市から松江市まで120kmありますが、私は職場の初任研修で半年間松江

に住んだことがあり、町の様子も分かっていたのであまり遠いとは思いませんでした。

JRの快速で2時間余りかかりますが単位認定試験の勉強をするにはよい時間でした。乗車券は学割で2割引でしたが、単位認定試験や面接授業などがあれば往復の料金は必要です。合わせて宿泊代、食事代、アルコール代（必須ではないですが・・・）も少しかかりました。

卒業までの4年間で学費以外の経費がある程度必要でした。また、平日行なわれる単位認定試験については浜田からですと丸1日、日程によっては2日間休みを取って受験しなければならないことがありました。県西部に住んでおられる方の中には経費のことや、勤務との兼ね合いが難しいと感じておられる方も多いと思います。ただ、近年では面接授業や講演を県西部で実施して頂けるようになりました。全てを松江市と同様にとすることは難しいと思いますが、ご配慮を頂いていることに感謝しています。放送大学のシステム上仕方がないことなのかもしれませんが、単位認定試験についても何とかして、県西部で実施して頂くことができるようになりましたら、県西部の学生さんにとっては本当に助かると思います。

勿論学習センターで他の学生さんと交流したり、先生とお話をするのも大切なことですので、学習センターでの試験や面接授業も引き続き行なわれるべきだと思います。松江市と浜田

市間の距離が時間的なことも含めて少しでも近くなれば県西部でも学生、仲間が増えて同窓会もより盛り上がるのではないかと思います。そのためにはもとより微力ではありますが精一杯お手伝いをさせていただく所存です。

## 地区会員の近況報告（卒業後の私）④

## 石見の魅力発見の旅へ

浜田市 槇野純子

私は平成10年（1998）に入学、生活と福祉を卒業したが、学習する楽しさが忘れられず再入学した。今回の原稿で、平成28年（2016）11月益田市での面接授業「日本の夜明けのカギを握る石見」を思い浮かべた。高橋一清先生（観光文化プロデューサー）の幕末の益田、川島芙美子先生（山陰万葉を歩く会）の万葉集の世界、五味文彦先生（放送大学教授）の日本史の中からの講義、発掘中の三宅御土居の現地見学、雪舟庭園、中世食。夜は神楽鑑賞や先生を囲む懇親会も楽しかった。そこで生まれ育った浜田市を中心にした石見の魅力をおどいを皆さんに提案しようと考えた。

## 石見の魅力とは

歴史探訪①下府廃寺塔跡〈国指定文化財〉、下府廃寺は7世紀末～8世紀初頭頃に建立され、10世紀初めまでには廃絶したと考えられる。金堂は東西長15、2m、南北長推定13mの基壇の上に建てられ、その規模から五重塔が想定される。多様な文様を施す軒瓦の存在などは、石見の中核的な寺院であった。家族で行った出雲弥生の森博物館に、この軒瓦が保存してあり、遠い地とのつながりがあったことに驚いた。

②平安中期の女流歌人和泉式部由来の地名は、百人一首「あらざらむこの世のほかの思い出に今一度の逢ふこともがな」で有名です。和泉式部は、懐妊中に九州大宰府にいる父を尋ねて、下府の里に辿り着いたところで、急に産気付き庄屋を訪ね休息をとるとともに、当家にお産の願

いをした。しかし家僕に追い立てられ、この地を後にし、生湯の里に辿り着き無事に出産をした。生まれた子を袂に包んで辿り着いた地を「袂の里」。また生湯までの間苦しい中をイヤイヤ歩いたので「嫌谷(正式は湯屋谷)」。地獄の苦しみの中を歩いたので「地獄谷」、と名付けられたといわれる。さらに式部が産気付き腰を掛けたとされる岩は「式部腰掛けの岩」。三隅町の橋のたもとに子を捨て、後に引き取った「子落」も一本桜のそばに和泉式部ゆかりの歌碑がある。

③夕日の眺望が美しい海水浴場「千畳苑」。続く「畳が浦」は1872年浜田地震により国分海岸が隆起してできたノジュールや化石が珍しい国指定天然記念物である。隧道の中に賽の河原があり、地蔵を祀る小さな祠があり暗がりから抜けると日本海の雄大な眺めが広がる。そこから、万葉歌人の柿本人麻呂と「石見の海 角の浦・・・」の妻よさみの姫子との別れを惜しむ歌が詠まれたという江津市「大崎鼻」が海沿いに続く。

④浜田城跡は司馬遼太郎の浜田藩追慕の碑や、尋常小学校教科書に掲載の木口小兵の喇叭を吹く銅像がある。大正の演劇の父、島村抱月の碑もある。浜田城は、元和5年(1619)に古田大膳大夫重治が国替えとなり築城。本丸には高さ約14mの三重櫓(天守)、二の丸、三の丸があった。慶応2年(1866)松平武聡の自焼退城により現在は城跡のみである。桜のころは花見、遠足など市民の憩いの場所である。

⑤次にお魚センターや道の駅「夕日パーク」で、どんちっちアジやノドグロ料理、獲れたてのイカやトビウオの刺身、カレーやフグの味醂干し、サザエ、アワビのつぼ焼き、ウニ丼など、漁港浜田の味を堪能してもらおう。

⑥浜田市は有数の温泉に恵まれ、一押しはツルツルの美肌の湯「美又温泉」。他にも「有福温泉」、「金城温泉」、「旭温泉」などがあり、授業の疲れを癒してもらおう。

昼間は道の駅、夜神楽は旭、有福温泉も定期的に演じられている。かなえば今後とも県西部での面接授業も考慮して頂きたいものです。

## 会員リレートーク⑦

### 緑夏の遊山

理事 森脇エイ子



野は緑を敷き、空は晴れ渡り、吹く風も香しい日、何カ年振りで故郷の公園に出かけました。

神社のある長い石段を登り、狛犬に迎えられ足を踏み入

ると、若葉青葉の薫りが身に気持ち良く染みましました。人は忘れていても時は新しい季節の準備を怠らず、木々は芽吹き始めています。何とも愛おしく感じました。

#### “目には青葉山ほととぎす初鯉”(素堂)

ふっと口をついて出ました。

見渡せば私達の子どもの頃とは随分変わり、きちんと整備されており、当時の佇まいは観られなかったが、自然の営み、空気は変わらず迎えてくれました。山、広場、公園にはつつじが彩とりどり咲き誇り、目を楽しませてくれます。ベンチに腰掛け、木漏れ日を浴びながら、森からはツイピー、ツーピーとか山雀、四十雀などが賑やかに鳴いています。

黄蝶が眼前をかすめ、あたかも私達を見つけに歓迎しているようで、気分が良くなりました。汗ばんだ体も若葉に染まり、樹木が放散するフイトンチッドのせいでしょうか、何とも爽やかにになりました。「オーイ、お茶」とか言って一服一息入れました。そして一句(駄作)

#### “木漏れ日の長き木椅子や夏の蝶”

山上には、慰霊塔が建立されています。公園の隅の苔むした石碑には「平和の礎」との文字、<sup>いしづえ</sup>斐川町遺族会の建立とあります。良く見ると発起人の理事の中に、今は亡き姉の名がありました。ここで70年も前の戦争の暗い記憶が蘇り、いろいろな想いに耽るひと時でありました。

私が7,8歳の頃、燈火管制、空襲警報、米機B29の7機襲来、防空壕に入ったことなど、今尚眼裏にあります。当時は物資不足の時代でし

たが、人々の絆は強く温もりがありました。だから、あの頃はこうも言われました。“恒産なくして恒心あり”と、私達はそんな中で育てられ今日があります。いろいろな思いが鮮明に蘇ります。あれから70年、70年ですものね。

『平和の礎』の本も発刊され、一読したことがあります。その一文が忘れられません。

「大正の嫁は一筋に良き嫁であり、良き母であらねばならぬ。亡き夫の思慕の情やみがたく、生きねばならぬ、生き抜かねばならぬ」と、若い未亡人の声であります。

### 私たちは“戦争の悲惨さ”を忘却

私たちは、平和社会に馴れ過ぎてしまい、戦争の悲惨さを忘却しているのではないのでしょうか。今は語る人も少なくなりましたが、二度とあの戦争の悲劇を繰り返さないで。永遠に平和を希求しつつ……と碑は語っているようでした。

一服の後、裏道を歩くと森林のざわめき、黄金色に輝く竹のそよぎ、どンドン下っていくと、山裾の方から吹き上げる風に、水田、早苗の匂いがある。長閑な田園風景にホット和む。「ケロケロ、クワクワ」と蛙の音がしきりに聴こえてきます。

「カエルのうたが聞こえてくるよ♪」と、つい口ずさむ「カエルの合唱」を良く歌ったものですね。

実は鳴くのは雄だけで、その鳴き方にも法則があるとか。二匹いた場合は一匹が鳴き始めると、二匹目も鳴き出す。交互に規則正しく鳴くそうです。だから小学校の頃「カエルの合唱」を輪唱で歌ったんですね。こういう日常のささやかなことにも、今こうして生かされていることの有難さ、幸せをしみじみ思いました。

さて、翻って現実に目を向けると、世界の情勢は、そして最近の世情を見聞するにつけ、何だか不穏な感じがするようではありません。こうして緑に囲まれ、忘れ難き故郷やいろいろな思いを巡らす1日でありました。

どうか、心豊かな平和の続く世の中でありませう。

## だんだんセミナー

### 「英語小説を愉しむ」のすすめ

出雲市 増原久子



島根大学の長岡真吾先生によるだんだん英語セミナーが始まったのは、2012年の6月からです。昨年からは同じく島根大学から宮澤文雄先生にご

指導をいただいて、「英語小説を愉しむ」というテーマでアメリカの小説を読んでいます。月1回、2時間のセミナーですが、文学作品の面白さに時間を忘れて引きこまれていきます。皆で一つの作品を読み終えたのち、自分なりに和訳することにしてはいますが、自分の作品ができたようにうれしい気がするものです。というと素晴らしい聞こえますが、難解なところがあると、残念ながらお手上げということになって、遠慮なく先生に質問をして教えていただきます。インターネットを駆使し、映像を用いながら小説の文化的背景も具体的に解説して下さいます。

現在、宮澤先生になって6作品目の小説、O. Henryの「A Retrieved Reformation」に挑戦しています。これは今までの5作品と比べてかなり難しく大苦戦をしていますが、みんなで助け合いながら頑張っています。

セミナーに参加するのは放送大学の学生だけではなく、一般の方も若い方からシニアまでいろいろで、みんなにぎやかにやっています。

みなさんのご参加をお待ちしております。この他にもだんだんセミナーがいろいろありますので、気持ちの向くままに、お出かけください。

(受講料は不要です)

お問い合わせは放送大学島根学習センター(0852-28-5500)までお願いします。

生活と福祉・人間と文化 卒業

現在 修士選科生(人文学プログラム)



## 我的书架から

松江市 安部保江

- ・本の題名 「神聖喜劇」
- ・著者 大西巨人
- ・出版社 光文社文庫



この物語は、太平洋戦争勃発直前、3 か月間の軍隊生活のことを軸にした、1～5巻

で完結する膨大な作品である。

今から70年も前の昔話だと思っ**て**はいけない。これは人間の物語である。人間の持っている善と悪、真面目さゆえの可笑しさや、馬鹿ばかしさ、その底を流れている悲しみなどを、いやと言うほど感じさせてくれる本である。

主人公、東堂太郎の目を通して一人ひとりの人物を丁寧に浮かび上がらせる。主人公は、自分自身を俯瞰して、人間の行動や言葉を通して論理的に結論を出し、その心理にまで迫る姿は魅力的だ。東堂太郎の抜群の読書量と記憶力は、東堂が感じる日々の状況の中に違和感なく、すんなりと本からの抜粋がなされていて、この『神聖喜劇』に一段と広がり**と**深みをもたらしていると思う。

本の題名の通り喜劇であり、声を出して笑ってしまう場面もたくさんあったが、しかし、喜劇の中にこそ何とも言えない悲しみがあることを私は感じた。

友人 T は、この本を3回読破し、大学ノート129頁に感想を書いていた。

この本を、硬質で回りくどくて、しつこくてなどと言いながら、すっかりはまってしま**う**読者も多いとのことである。まさに私も**そ**うである。



- ・本の題名 「絵本で出会った子どもたち～心がつく瞬間をみつめて～」
- ・著者 足立茂美
- ・出版社 今井出版

この本は、前センター長の奥様が著されたものである。

ここに取り上げられている

絵本は48冊、心温まるやさしい感想と丁寧な解説がなされていて、私はゆっくりと味わいながら読ませて頂いた。

“本は子どもたちの心の果実を**実**らせる。”と著者は言っていて、私も同感である。子どもたちに読み聞かせをしてやりながら、私たち大人も、読書することによって、益々おいしい果実になり、そしていい種を残したいものである

### 同窓会東部地域主催

## 第2回 “いちご狩り” に参加して

松江市 竹下孝子



昨年に続いて松江市福富町に、2回目のいちご狩り（食べ放題）に出かけました。

学習センターに集合し、自家用車に分乗して約30分で現地**に**到着。当日は風もなく**天**気に恵まれ、まさにピクニック気分でした。

この農園は、こだわり農法でハウス内にクラシックのモーツァルトを流しながら、生育が行われており、その成果か**こ**の他大きくて、真赤でおいしいいちごでした。

農園には3棟のビニールハウスがあり、その内の1つのハウスを貸し切り状態で、いちご狩りの始まりです。畑には大きく真赤に色づき、甘い香りが漂ういちごの中、通路から手を伸ばしいちごを選び口に運びました。

ハウス内では、一方通行で各自が別々の通路や、前の人に続きながら奥に向かって、摘んでは口に入れ、持ち帰り用のパックにも詰めながら、約1時間楽しみました。

昨年に劣らず大粒で、甘く美味しいいちごで、生産者の方のご苦勞を思いながら、子供や孫への土産として持ち帰り大満足でした。

来年もみんなで参加し、楽しみたいものです

## 新連載

### 同窓会に“期待”する①

心理と教育コース 北垣秀俊



全科履修生として放送大学に入学して、3年目になりました。卒業研究も履修し、今年度末には卒業の見込みです。

これから同窓会にお世話になる身として、注文めいたことを書くのもいがかとは思いますが、第三者の視点からのお願いという形で、3点ほど書かせていただきたいと思っています。

#### 同窓会に3点のお願い

ここでお願いしたい3点とは、①「ライトユーザー」の取り込み、②放送大学卒業生としてのアイデンティティの涵養、③外部団体との連携、の3点です。

①の「ライトユーザー」というのはわかりにくい表現かもしれませんが。資格や学士学位取得など特定の目的で入学し、とりあえず単位を取って卒業していく学生を指します。普段は自宅で

学習し、センターに来るのは定期試験の時くらいといった学生を、ここでは念頭に置いています。継続入学で各自の学びを続ける学生がいる一方、こうした「ライトユーザー」も、放送大学生の一つの典型ではないでしょうか。こうした層をどうやって同窓会に取り込んでいくかというのは、考える価値のある問いはないかと考えます。

「ザイアンスの法則」が言うように人は単純接触の機会が多いものにより親近感を覚えるのであれば、卒業生が同窓会の活動を目にする機会が増えれば、参加率も高まるかもしれません。総会などとは別に、月一回あるいは隔月で昼食会なども考えられるのではないのでしょうか。こうした活動を通して、②の放送大学卒業生としてのアイデンティティも育っていくのではないかと考えます。

③外部団体との連携ですが、これも学ぶ機会の提供という視点から進められればと考えます。昨年度から、「臨床心理士の会」が活動をはじめ、各ブロック(島根だと、中四国ブロックになります)で研修会を開催しています。5月20日に広島で開催された研修会に参加してきましたが、今後継続的な活動をしていく方針の一方で、会員数の確保など課題もあるようでした。認定心理士資格取得のために放送大学に入学する学生が多いことを考えれば、こうした動きと連携した活動を考える価値はあるのではないのでしょうか。

以上長々と纏まりのないことを書いてしまいましたが、放送大学島根同窓会のこれまでの活動を評価して続けるべきものは続けるとともに、社会の動きを見ながら、少しずつでも新しい取り組みがあるといいなとも思います。



在校生代表で送辞を述べる北垣さん

平成28年度

## 「修士論文発表会」を開催

2月4日(土)「平成28年度卒業研究・修士論文発表会」が、学習センターと同窓会の共催にて公開講演会に引き続き開催された。

今年度は学士の卒業研究発表の該当者はなく、2人の修士論文の発表が行われ、例年通り多くの方が参加され、発表者に対し活発な議論が行われました。

### 発表1、金山朝子さん

(修士・人間発達科学プログラム)

研究テーマ：小学校道徳内容項目「礼儀」について

～主として「礼儀」資料の分析から～  
家庭で行う「礼儀」が社会的背景から学校教育の中で期待されているが、道徳内容項目「礼儀」がどのように扱われているか、教材の分析を基に研究した。

まず、学習指導要領における項目内容を明確にした後、次の道徳教材を個人道徳と社会道徳の視点から分析した。①文部科学省「心のノート」とそれを改定した「私たちの道徳」、②8社48冊の教材会社出版の教材、③地域や偉人の文化に係る資料が多い自治体で版の教材。分析結果から、礼儀の意味を児童と共に考えられる資料が期待されるが、教科化に伴い慎重な資料の選択が必要となる。個人道徳の向上が社会道徳の向上と連動し、相互に作用しているため、中学校への円滑な接続のため、中・高学年資料の検討の必要性や指導の在り方の実践研究が大切である。



### 発表2、岡田 真さん

(修士・自然環境プログラム)

研究テーマ：自転車競技におけるペタリングの数学モデル

非常にユニークなテーマが選択された。自転車競技にはロード競技(一般道・長距離)とトラック競技(競技場・短距離)がある。



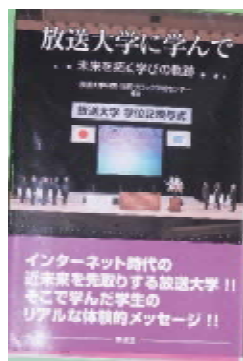
16年間競技を続け、4年間指導した中で疑問に感じたことは、①同じ体格での速さの違い、②選手それぞれのペタリングの違い、③最適な乗車ポイントである。①と②ではペタリングスキルの違いがあると考え、ペタリングの動きを分析し、自転車ペタリングのモデル化を試み、円運動をスムーズに行うには、各円周上の点で、円の接線方向に力を加える必要があったが、関節トルクを運動方程式に求めることができる。③については定点において力が最大になるサイドポジションを、ムーアペンローズ逆行列を用いて求めることができる。大腿、下腿の長さもサイドポジションに影響する。

発表後、非常に活発な質疑応答が交わされました。これらの研究がさらに進展することを期待したいと思います。(記：小汀政徳)

## 放送大学本の紹介と販売

放送大学 中国・四国ブロック

学習センター編著者



「もっと早く出して欲しかった」

こんな感想を抱いた一冊の本が出版されました。

『放送大学に学んで・未来を拓く学びの軌跡』と題したこの本には、放送大学で学ぶ貴重な多くの学びの

記録が載せられており、島根学習センターから



は8名の先輩や仲間たちの学びの体験が載せられています。そして私が抱いていたと同じような「学ぶことについての想い」が書かれている、松崎留美さんの体験記がありましたので、その一節をここに引用紹介させていただきます。「私が放送大学に入った理由は、キャリアアップでも資格取得でもなければ、学習への熱意でもない、ただ大学に入りたかっただけ。大学生になりたかっただけ・・・今この時代に放送大学生としていられたことは、きっと生涯にわたって誇りに思うことの一つであろう。出会えた幸運に感謝して、今日も私は勉学に励む」。

## 新役員就任のご挨拶

第3期役員改選において、次の方がそれぞれ選任されましたのでご紹介をします。

### 副会長・竹下 隆さん（出雲市）



増原前副会長の後任で副会長に就任しました。同窓会発足当時から副会長を務められた増原氏の後任ということで責任を感じております。

皆様にご指導いただき、同窓会の発展に寄与して参る所存でございますので宜しくお願い致します。

### 理事・安井多喜恵さん（出雲市）



学生時代は受験でセンターを訪れるだけでしたので、知り合いもなく卒業することに専念していました。卒業式に出席した折に会長から

声を掛けられ、初めて学生としての繋がりが出来て嬉しく思った。今後は同窓会での交流を深め、生きた学びができることを目標にしたい。

中四国の学習センターで学ぶ先輩や仲間たちの茨と栄冠の道のりがギッシリと詰まったこの本を皆様にお勧めします。（記・知野見孝信）

## 『放送大学に学んで』

～未来を拓く学びの軌跡～

発行所：(株)東信堂

定 価：本体 2,000 円＋税

(注) 同窓会が注文を受けています。

学習センター窓口までご注文下さい。

3冊以上まとめますと一部割引と送料は不要です。

### 監事・田中秀典さん（松江市）



この度、監事に就任することになりました田中秀典と申します。平日は仕事により、いろいろな行事に参加することは

できませんが、可能な範囲で同窓会の活動に貢献したいと考えております。いろいろ至らない点もあると思いますが、よろしくお願い致します。

## 副会長退任のご挨拶

### 副会長 増原久子さん（出雲市）



この度同窓会役員改選に当り、高齢による体調不良のため、副会長を退かせて頂きます。設立以来4年間にわたり、皆様とご一緒に諸行事に参加させて

頂きました。

会員数も100人を超えて嬉しい限りです。

同窓会の今後の発展をお祈りします。

**島根学習センターから  
行事のご案内**

- 日程が変更になる場合がありますので、事前に申し込みをお願いします。  
島根学習センター ☎0852-28-5500
- 学生以外の方、途中から参加の方もOKです。お問い合わせの上ご参加ください。
- セミナーは通常第2講義室（スティックビル4階）で行いますが、第1講義室（スティックビル3階）に変更になることもあります。事前にご確認ください。

\*\*\*\*\*

●**だんだんセミナー**●

- ◆**「身近な記憶の心理」** 講師:高山草二客員教授  
8月10日(木)、9月8日(金) 14:30~16:00
- ◆**「生物よもやま話」** 講師:大島朗伸客員准教授  
8月24日(木)、9月お休み 15:30~17:00
- ◆**「古文で作文～創作から学ぶ古典文学～」** 講師:野本瑠美容員准教授  
8月18日(金)、9月15日(金) 15:00~16:30
- ◆**「英語小説を愉しむ」** 講師:宮澤文雄客員准教授  
8月12日(土)、9月16日(土) 15:00~17:00
- ◆**「みんなでつくる安全な医療」** 講師:宮本まゆみ客員准教授  
8月8日(火)、9月12日(火) 15:00~16:30
- ◆**「健康づくりに活かす運動生理学」** 講師:原文貴客員准教授  
8月3日(木)、9月7日(木) 14:30~16:30

●**だんだんサロン**●

- ◆**「作文の時間」** 講師:足立 悦男 島根大学名誉教授  
8月6日(日)(第1講義室)、9月10日(日) 13:30~15:00
- ◆**「おしゃべり会」** 講師:足立 悦男 島根大学名誉教授  
8月6日(日)(第1講義室)、9月10日(日) 15:30~17:00  
※作文の時間・おしゃべり会のどちらか片方だけでも参加できます。

## ～同窓会よりお知らせ～

### 会員名簿(第6版)をお届けします

遅くなりましたが、第6版(7月)発行の会員名簿を同封しました。記載内容は「入会申込書」における個人情報について「開示同意項目」のみの記載となっています。同意されない項目は未公表ですのでご了承下さい。なお、もし記載内容に誤りがございましたら、お手数ですが会長の竹下までご連絡下さい。

- ①あくまでも個人情報ですので、会員名簿の取り扱いには十分ご配慮下さい。
- ②住所・電話番号などご連絡先が変更となった場合は、竹下までご連絡下さい。
- ③FAX番号が未記載の方は、お手数ですが竹下までお知らせ下さい。
- ④ただし開示に不同意される場合は、その旨ご指示下さい。同窓会より連絡を要する場合がありますので、お手数ですが竹下までお知らせ下さい。郵送料節減のためFAXの活用には是非ともご協力をお願いします。

## 新会員のご紹介 (平成28年9月～29年6月)

### ○平成27年度1学期卒業

センター初特別学生 平塚純一さん  
(平成16年3月 修士修了)

### ○平成23年度2学期卒業

生活と福祉コース 畠山留美さん

### ○平成28年度1学期卒業

心理と教育コース 小村朋子さん

### ○平成28年度2学期卒業

心理と教育コース 吾郷宰子さん

### ○平成28年度2学期卒業

心理と教育コース 佐藤玲子さん

### ○平成28年度2学期卒業

生活と福祉コース 鎌田麻美さん

### ○平成28年度2学期卒業

環境システムプログラム  
岡田 真さん

## ◆同窓会活動日誌◆

(2017年1月～6月)

1月11日(水) 会員名簿第5版印刷  
13日(金) 会報“たたら”8号発送  
2月04日(土) 第4期第4回役員会  
04日(土) 28年度修士論文発表会  
15日(土) 第13回広報部会  
15日(土) 第4期第5回役員会  
3月26日(日) 28年度2学期学位記授与式  
26日(日) 28年度卒業を祝う会  
26日(日) 29年度入学者のつどい  
31日(土) 足立先生・事務長送別会

4月08日(土) 平成28年度会計監査  
15日(土) 第5回通常総会資料印刷  
15日(土) 第2回東部地域いちご狩り  
22日(土) 第5回通常総会  
5月06日(土) 総会資料発送準備  
13日(土) 29年度センターと懇談会  
13日(土) 第14回広報部会  
13日(土) 第5期第1回役員会  
14日(日) 第5回通常総会資料発送  
27日(土) 同窓会連合会第20回通常  
28日(日) 総会(幕張研修センター)  
6月16日(金) 中部地域担当役員打合会  
16日(金) 会報“たたら”会員取材  
26日(土) 第14回広報部会  
26日(土) 学習センターオープン  
キャンパス支援(松江)

## 👁️👁️当面の行事案内👁️👁️

### 第3回中部地域会員交流会開催のご案内

日時 平成29年9月2日(土)11:00～16:00 (同窓会中部地域担当)  
会場 大田市 石見銀山(世界遺産登録10周年記念展) 見学と食事&交流会  
対象 中部・西部地域の会員&全地域の会員  
集合 11:00 石見銀山資料館見学(現地集合)  
12:00 昼食(Cafe住留(ジュール))  
12:30 会員交流会(昼食会場にて)  
14:30 希望者は龍源寺間歩・大久保間歩見学(現地ガイド)  
※詳しくは同封のチラシをご覧ください

## 平成29年度第1学期学位記授与式開催のご案内

日時 平成29年9月24日(日)11:00~12:00 (主催:学習センター)  
会場 松江市 島根学習センター 3階 「第一講義室」  
対象者 平成29年度第1学期卒業要件を満たした学生  
※後輩たちの卒業式を祝福するため、会員多数のご参加をお願いします。

## 平成29年度第1学期“卒業を祝う会”開催のご案内

日時 平成29年9月24日(日)12:00~13:30 (主催:島根同窓会)  
会場 松江市 島根学習センター 4階 「第二講義室」  
会費 1,200円(食事準備のため事前にご予約下さい)  
電話 0852-28-5500 FAX0852-28-1800

## 平成29年度第2回西部地域会員交流会開催予定

日時 平成29年11月中旬頃を予定(主催:島根同窓会・共催:学習センター)  
会場 益田市内を予定 (市民対象の公開講座に合わせて開催予定)  
対象 同窓会員・卒業生・学生

### ◆編集後記◆

先日たまたま、夜の道を歩いていましたら、蛍が飛んでいるのに出くわしました。近くに田んぼもありましたので、どこか田んぼか水路か水のあるところで、育ったのかもしれませんが。しばらく飛んでいるのを見ていましたが、そのうち建物の陰に入って行きました。

以前は、水質汚濁やコンクリート水路の整備が原因となり見かけなくなった蛍ですが、下水道の整備や、住民の保護活動により生息場所が戻ってきた感じのする最近の蛍事情です。こ

蛍なんか見てどうするのかという意見もあるかもしれませんが、夜も暑くなりだした時期に、夕涼みがてら夜道を散歩しながら見つける蛍は、昼間の現実を少し忘れさせてくれます。また、毎年蛍観賞をしていると「今年もまた、暑い夏が来るなあ。」と、おおかた一年の半分が過ぎたことや去年あったこと、夏になったらやろうとしていたことなど、思い起こすことも例年通りのところもありますが、ちょっとした頭の整理の時間を過ごすことができます。

本会報が皆さんの手に届くころは、少し時期が過ぎているのでしょうか。でも、夏の間は時々見かけます。夜の散歩を強く勧めるものではありませんが、蛍を探して歩く夜道は、いろんな景色が夜に隠れている分、いろんな想像が膨らみます。今年も自分は、昼間の事をひと時忘れて、蛍観賞、蛍探しに出かけてみようと思います。

(宅和由男)